

令和 7 年 度

経 済 学 部

学 校 推 薦 型 選 抜

総 合 問 題

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は、1 ページから 5 ページにわたっています。
- 3 解答用紙は 2 枚、下書用紙は 2 枚です。
- 4 試験開始の合図があってから問題用紙、解答用紙、下書用紙を確認し、不備がある場合は直ちに監督者に申し出てください。
- 5 すべての解答用紙の所定の欄に、受験番号（2 か所）を記入してください。
- 6 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。解答用紙の所定の欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としません。
- 7 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

【問題 1】 次の文章を読んで、[設問 1] から [設問 4] に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

環境は、人間や社会にさまざまな便益をもたらしてくれる存在であり、日本人はしばしばそれを「自然の恵み」と呼んだりします。

〔中略〕

ただ「自然の恵み」という表現は、美しい日本語ではありますが、そのまま英語に直訳しても日本人以外にはおそらく意味が通じません。それに対して、世界的に通用するのが①生態系サービスという言い方です。ビジネスを連想させるサービスという言葉に違和感があるかもしれませんが、本来それは無形の有用物といった意味合いの言葉です。企業が私たちにサービスを提供するかの如く、環境も私たちに自然の恵みというサービスを提供している、と見なすのです。

〔中略〕

手始めに、②「どうすれば生態系サービスは守れるのか」という、抽象的かつ根本的な問いから出発しましょう。環境と経済という視点に立つならば、その答えを知る手がかりは、生態系サービスの経済的性質に隠されています。生態系サービスがどんな性質を持つのが分かれば、生態系サービスをどのように守るべきなのかが浮かび上がってくるからです。

まず、③市場で売買されるサービスは基本的にそれを欲する人に提供されますが、生態系サービスはそれを必要とする人に提供されなくてはなりません。生態系サービスがないと人は生存できませんので、必要なのに手に入らないという事態はあってはならないのです。ここから示唆されるのは、環境権（人々が良好な環境を享受する権利）の重要性です。

次に、生態系サービスの多くは環境そのものから生み出されますが、中には環境と人間の歴史的相互作用を通じて生み出されるケースもあります。例えば日本の里山は、人間の手が入ることではじめて維持できる自然です。したがって里山の生態系サービスを守るには、単に環境を守るのではなく、環境と人間の関係性を守るという視点が不可欠になります。人間は生態系サービスの使い手であるだけでなく、時に作り手にもなるのです。

さらに、生態系サービスの中には、いったん失われると回復させるのに莫大な費用がかかる、あるいは二度と手に入らないというケースも少なくありません。市場で購入する一般的なサービスのように、もし A 社が倒産しても B 社に乗りかえればよい、とはいかない場合もあるのです。環境破壊が起きてからその対策を考える対症療法よりも、環境破壊が起きないようにする予防的取り組みの方が政策的な優先順位が高いのです。

そしてもう一つ、生態系サービスには④重要な経済的性質があります。それは、しばしばコモンプール財の性質を持つということです。

コモンプール財というのは経済学の専門用語です。経済学では、競合性と排除性の有無に

したがって、財やサービスを四つに分類するのが一般的です。

A さんが利用すると B さんは利用できなくなるという財・サービスの性質のことを、競争性といいます。食べ物は、誰かが食べてしまうと他の人はそれを食べられませんので、競争性の高い財です。一方で科学的知識のように、A さんが利用した分だけ B さんが利用できる量が減る、という現象が起きない財もあります（非競争性）。

そして、対価を払った A さんのみに利用を許し、払っていない B さんの利用を容易に排除できるという財・サービスの性質が、排除性です。映画館の入り口で入場券をチェックできる映画は、排除性の高いサービスです。それに対して、夏祭りの打ち上げ花火は、お金を払った人だけが見られるようにすることが難しいサービスです（非排除性）。

コモンプール財は、競争性と非排除性を有する財・サービス、すなわち A さんが利用すると B さんは利用できなくなる、にもかかわらず A さんや B さんをはじめ不特定多数の人が自由に利用できてしまうような財・サービスです。その帰結は、分かりやすく言えば混雑現象であり、生態系サービスのケースだと環境破壊現象です。水産資源や地下水資源は、誰かが採取すれば（短期的には）その分だけ減少しますし、勝手な採取を防ぐには莫大なモニタリング費用がかかってしまいます。そんな資源が過剰利用や枯渇のリスクと隣り合わせであることは、容易にご想像いただけるのではないのでしょうか。

〔出典〕宮永健太郎『持続可能な発展の話―「みんなのもの」の経済学』、岩波書店、2023年、2・41 頁。なお、問題作成において、文章・見出しなどを一部省略・修正した。

〔設問 1〕下線部①について、生態系サービスという言葉の定義を簡潔に述べなさい。

〔設問 2〕下線部②について、生態系サービスを守るために、どのような視点が必要だとされているか、本文の内容に基づいて説明しなさい。

〔設問 3〕下線部③について、生態系サービスとの違いについて、本文の内容に基づいて説明しなさい。

〔設問 4〕 下線部④について，以下の問いに答えなさい。

1. どのような性質を持つのか，本文の言葉を用いて述べなさい。
2. その性質について説明しなさい。

【問題 2】 次の文章を読んで、[設問 1] から [設問 4] に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

The number of foreign visitors to Japan in the first half of this year reached a record high. In order to further convey the attractiveness^{*1} of regional areas, the dissemination^{*2} of information overseas through regional cooperation should be strengthened.

[中略]

The government has set a goal of 60 million visitors to Japan in 2030. To achieve this goal, it is important to increase the number of visitors who visit Japan multiple times.

① To this end, it is also important to convey to travelers from foreign countries the attractiveness of regional areas.

It has been reported that nearly 90% of visitors to Japan are concentrated in nine prefectures, including Tokyo, Osaka, Kyoto, Hokkaido and Fukuoka.

Since the problem of overtourism^{*3}, in which an increase in the number of tourists has a negative impact on the lives of local residents, has also resurfaced^{*4}, it is desirable that visitors to Japan will disperse^{*5} to various regions.

Regional areas have many attractive tourism^{*6} resources, with unique characteristics such as food, hot springs and festivals. (②) among foreign visitors, it could be beneficial^{*7} for both regional areas and the visitors.

[中略]

Gastronomy^{*8}, the study of regional food culture, is also attracting worldwide attention. For Japan, which is blessed with various foodstuffs^{*9} from the sea and mountains and has cultivated a variety of cooking methods, this will be a tourism resource to be proud of.

When strengthening the dissemination of information, ③ the appeal of individual regions is limited if they promote themselves individually. It is necessary for local governments, restaurants, lodging facilities and others to collaborate^{*10} as representatives of a wider region, such as Tohoku, Hokuriku and Kyushu.

In order to improve the readiness^{*11} to receive the tourists in regional areas, there is also an urgent need to address the labor shortage. An increasing number of municipalities^{*12} are considering a ④ lodging tax to secure labor and improve public transportation networks.

However, that could effectively increase lodging rates, and there is concern on the lodging operators' side that their competitiveness^{*13} could decline. It is also important to add value to the lodging businesses so that the price increase will not cause a loss of customers.

[注]

*1. attractiveness 魅力

- *2 dissemination 普及, 流布, 宣伝
- *3 overtourism オーバーツーリズム (意味については本文を参照)
- *4 resurface 再び現れる, 再燃する
- *5 disperse 分散する
- *6 tourism 観光
- *7 beneficial 有益な
- *8 gastronomy ガストロノミー (意味については本文を参照)
- *9 foodstuff 食料品, 食糧
- *10 collaborate 協力する, 共同する
- *11 readiness 用意(準備)ができていること
- *12 municipality 地方自治体
- *13 competitiveness 競争力

[出典] “Recovery of Visitors to Japan: Convey More of the Charms of Regional Areas,”
Yomiuri Editorial at *The Japan News By The Yomiuri Shimbun*, August. 14,
2024 (<https://japannews.yomiuri.co.jp/editorial/yomiuri-editorial/20240814-204932/>) より抜粋。なお、問題作成において、文章を一部省略・修正した。

[設問 1] 下線部①を和訳しなさい。その際、「to this end」の内容を具体的に示すこと。

[設問 2] 空欄 (②) には「日本文化を学ぶことに強い関心があるので」という内容の一文が入る。次の (ア) ～ (ク) の語句を並び替えてこの一文を英訳するとき、3 番目, 5 番目, 7 番目にくる語句を (ア) ～ (ク) の中から選んで答えなさい。

- (ア) learning (イ) is (ウ) Japanese culture (エ) in (オ) as
(カ) a strong interest (キ) there (ク) about

[設問 3] 下線部③を和訳しなさい。

[設問 4] 下線部④について、以下の問いに答えなさい。

1. その目的は何か、本文に即して日本語で答えなさい。
2. それによって生じる問題は何か、本文に即して日本語で答えなさい。

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

令和7年度 経済学部 学校推薦型選抜（総合問題） 解答用紙

(2枚中1枚目)

【問題1】

[設問1]

設問1 得点

[設問2]

設問2 得点

[設問3]

設問3 得点

[設問4]

1. ()
- 2.

設問4 得点

総得点

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

令和7年度 経済学部 学校推薦型選抜（総合問題） 解答用紙

(2枚中2枚目)

【問題2】

〔設問1〕

設問1 得点

〔設問2〕

- 3番目 ()
5番目 ()
7番目 ()

設問2 得点

〔設問3〕

設問3 得点

〔設問4〕

1.

2.

設問4 得点

総得点

下書用紙

下書用紙